

(第22回)

United GIPs セミナーのご案内

(フォローアップセミナー)

中国語特許・読解学習セミナー(2nd)

- はじめての中国語 [発]、実務レベル [着] の Passport - (第二回)

-

開催日：2015年6月11日(木)

拝啓

時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本セミナーは、去る4月21日に弊所で開催しました雙田(そうだ)飛鳥先生の「中国語特許・読解学習セミナー」のフォローアップセミナーです。

上記セミナーの際には、中国語の知識がなくても漢字が読める日本語ネイティブの特性を生かした中国語の特許明細書の読解学習の機会として、弊所メンバーとご招待者様併せて約35名の方にご参加いただきました。

現在、講師の雙田先生が研修のために京都に一ヶ月間程滞在されていますので、その機会を使って、再び弊所でのフォローアップセミナーをお願いしましたところご快諾をいただきました。

中国語の読解に必要な知識をこの短いセミナーで全てを網羅することは難しいと思います。ですが、本セミナーで学んだ文法知識を使えば実際の中国語のクレームを読めるようになるという実感を持っていただきたいと思います。そのため、中国語を読解できる感覚をイメージしながら学習を進めていただけるよう、そして皆様の実務に即役立つ内容になるように今回のセミナーを組んでいただきました。

ここにご案内申し上げますので、ご多用とは存じますが、ご参加をご検討いただきますようお願い申し上げます。

敬具

2015年5月 吉日

新樹グローバル・アイピー特許業務法人

代表弁理士:村井 康司

セミナー案内

(フォローアップセミナー)

中国語特許 読解学習セミナー(2nd)

本年4月に、中国語の学習経験がない方も対象として中国語読解セミナーを開催させていただきました。

具体的には、次のような内容などを紹介させていただきました。

- ①「中国語特許明細書を読む。書く。」(ILS出版)の作成秘話
- ②中国語読解ゼミの状況
- ③中国語とは？
- ④日本人にとっての中国語読解学習
- ⑤中国語文法の基礎である文成分

◆今回のフォローアップセミナーでも、時間の関係上、中国語の読解に必要な知識をすべて詳細にお伝えするということはできず、中国語の読解に必要な知識の獲得は、「中国語特許明細書を読む。書く。」の通読またはそれをテキストとする「中国語読解ゼミ通信講座の受講」(無料)などをしていただく必要があると考えております。

◆その一方、「中国語特許明細書を読む。書く。」を用いて学習した場合、どの程度のことができるようになるのかがわかればその学習に対するモチベーションをより高めることができるとともに、学習期間の目安が分かれば安心して学習を開始できると考えられます。

◆中国語の文法面を見ると、理解しておくべき知識はそれほど多くない一方、中国語明細書の表現としては注意が必要なところがあり、それらをコンパクトにご紹介できれば、即実務に役立つと考えられます。

◆また、「それらの文法知識を使えば実際の中国語公報のクレームを読める」ということを実感していただくことができれば、「中国語を読解できる」というゴールをイメージしながら学習を進めることができるので、時間当たりの学習効率が高まると考えられます。

参加を希望される方で、事前にご質問のある方は、セミナー前にご連絡を頂きましたら、私から講師へ事前に問い合わせを行い、セミナーの当日に回答を得るように努めます。ご質問等のある方は弊所村井(kmurai@giplaw-osaka.co.jp)までご連絡下さい。

内容(予定): (実際の内容は一部変更する場合がございます。)

- (1) 中国語読解ゼミを受講済みの方の今
- (2) 「中国語特許明細書を読む。書く。」の重要箇所解説

(3) 中国語公報のクレームの読解演習と解説

(雙田飛鳥先生から受講者の皆様へのコメント)

今回のフォローアップセミナーの資料作成には、中国語読解ゼミを受講された方々から多くの協力をいただきました。

第2回目のセミナーとなりますが、皆さんの中国語学習意欲の向上に少しでも貢献できればと考えております。

対象者及びセミナー形式

中国特許実務に関心をお持ちの方。技術知識や技術分野は問いません。

中国語の学習経験がまったくないが中国語に興味のある方から、中国語を1～2年勉強した経験のある方を対象としています。

日本語による講義です。

前回のセミナーにご参加されなかった方もご参加いただけます。

セミナー開催情報

- 日 時: 2015年6月11日(木)
15:30～18:00 (開場15:00)
- 場 所: 新樹グローバル・アイピー特許業務法人
〒530-0054 大阪市北区南森町1-4-19
サウスホレストビル6F 会議室
(地図: <http://www.giplaw-osaka.co.jp/jp/access.html>)
- 講 師: 弁理士: 雙田飛鳥氏 (shuangtian@dragonip.com)
北京銀龍知識産権代理有限公司 (<http://www.dragonip.com/>)



アシスタント: 中国専利代理人: 呉 芳
新樹グローバル・アイピー特許業務法人

参加費： 無 料

テキスト： 前回お配りしました『中国語特許明細書を読む。書く。』を使います
(お持ちでない方は、お申し込み時にご連絡ください)

参加申込方法

<セミナー出席者様情報>を、彦野友子 (yhikono@giplaw-osaka.co.jp) へ e-メールでお送りください。

<セミナー出席者様情報>

第22回 United GIPs セミナー

中国語特許・読解学習セミナー(2nd)

(フォローアップセミナー)

2015年6月11日(木) 15:30~18:00

(出席者様情報)

- ・ ご所属(会社名):
- ・ お名前(カタカナ):
- ・ Email アドレス:
- ・ 下記の何れかを選択して下さい。
指定テキストを(持参する)。
保有していないので(持参しない)。

(本セミナーへの参加目的)

- ・ 本セミナーに期待されていることを教えてください。

(受講受付後の弊社からのご連絡)

本セミナーでは、受講票の発行は行いません。また人数に制限はございません。セミナー参加申込を受付後、メールにて受領ご連絡を差し上げます。

以上

お申し込みをお待ちいたしております。

<主催>新樹グローバル・アイピー特許業務法人(セミナー受付:彦野、中川)

〒530-0054 大阪市北区南森町1-4-19 サウスホレストビル11F

Tel. 06-6316-5533 Fax. 06-6316-5544

講師 **雙田飛鳥** 氏 (shuangtian@dragonip.com)

【学歴】

1996年3月 東京理科大学工学部電気工学科卒業
1998年3月 東京工業大学大学院総合理工学研究科材料科学専攻修了

【職歴】

1998年9月 堀国際特許事務所
通信機器分野、遊技機分野の仕事に従事
2003年2月 正林国際特許事務所
遊技機分野の仕事に従事
2005年9月 オリオン国際特許事務所
復旦大学にて語学留学
2006年1月 Dragon IPにて中国の特許実務に従事。

テキスト



ILS 出版

出版日 2012 年 11 月

定価 6000 円 (税別)

B5 判 約 480 ペー

本書には、日本語 Native の著者が 100 万文字の（中国特許 Claim）を精読する過程で得ることができた「中国語を読解するための知識」（中国語のリーディングのための知識）がすべて記載されています。

また、本書の構成は、日本人の学習者の方（特に理系の技術者の方、第 2 外国語として選択されている方）が無理なく独学でも中国語の読解力（リーディングの力）を高めることができるよう、日本語 Native の著者が担当しました。

中国語 Native の 2 人の著者は、上記構成を基礎として [中国語の例文] を加えるとともに、上記過程を通じて日本語 Native の著者が「知りたかった事項」のすべてに対して解説を加え、さらに日本語と中国語の間における「微妙な違い」、（Native の感覚）を追加しました。

本書には、次の 7 つの特色があります。

（ 1 ）（中国特許 Claim）を読解するために必要な知識（技術用語を除く）

頻出の用語およびその用法の知識を得ることができる

読解に必要な文法知識を得ることができる

文の構造を分析するために必要な知識を得ることができる

（ 2 ）（Native の感覚）

文法のその先にある（Native の感覚）を理解することができる

（ 3 ）日本語と中国語との間における「微妙な違い」

「微妙な違い」を知ることにより、中国語の意味をより深く理解することができる

（ 4 ）文の構造の解説付きの、実務に即した豊富な例文

実務に即した例文に基づき、実践的に学習できる

各例文の文の構造を容易に理解できる

豊富な例文により、（中国特許 Claim）に出てくるパターンを網羅

（ 5 ）Speedy

（中国特許 Claim）を読解するための知識を Speedy に学習

細かく設定された目次に基づき、必要とする情報を Speedy に検索

『Why? にこたえる はじめての中国語の文法書』、『中国語文法用例辞典』、『誤用から学ぶ中国語』の 3 冊の書籍の対応頁の表示により Speedy な確認

（ 6 ）Smooth

上記 3 冊を開きながら（中国特許 Claim）を読解するための知識を Smooth に獲得

日本人の学習者のために日本語 Native が担当した構成により Smooth な学習

（ 7 ）実務における中国語の使用

本書の知識を得た後、中国語の特許 Claim の翻訳チェック、中国語特許文献の特許調査を自ら行うことができる

特許明細書、技術文献、法律文章、特許審査意見通知書その他の文章の読解に必要な読解力を身につけたことになる

中国語技術用語の検索手段を有し、ある程度の経験および日本語の表現力があることを条件として、中→日の特許翻訳、技術翻訳などができるようになる